雪解け告げる不動の滝

不動の滝まつり

不動の滝まつりが５月３日、桜松公園で開かれ、雪解け水が流れる約15㍍の滝を見ようと、多くの観光客が訪れました。

まつりでは、あしろ保育所の園児による踊りや郷土芸能の小屋畑田植え踊りが披露されたほか、民謡・歌謡ショーが行われました。また、ちびっこお楽しみ抽選会も開催され、当選した子どもたちは、マスコットキャラクターから商品を受け取ると、満面の笑みで喜んでいました。

雪解け水が流れる不動の滝は迫力満点

地域の伝統を受け継ぐ

浅沢神楽まつり

子どもたちが舞う神楽を楽しむ地域の皆さんら

浅沢神楽まつりが５月４日、浅沢神楽伝承館で開催されました。

まつりでは、浅沢子供神楽会と浅沢神楽保存会がそれぞれ神楽を披露。訪れた地域の皆さんらは、子どもたちが元気に舞う姿や大人の勇壮な舞を楽しんでいました。また、神楽で使用する衣装などを間近で見ることのできる神楽体験コーナーや地元の皆さんで構成する「浅沢ばっちゃーず」が作った郷土食などの販売も行われ、会場は盛り上がりました。

餅の重みに負けないぞ

一升餅を背負って歩こう

道の駅にしねの産直まつりが、５月３日から５日まで開催されました。

５日は、毎年恒例となっている「一升餅を背負って歩こう」が開かれ、１～２歳の幼児約30人が参加。はんてん姿で一升餅を背負い、約５㍍のじゅうたんの上を歩きました。一升餅を背負って歩くのには、『一生（一升）食べ物に困らないように』などといった願いが込められており、立派に歩き切った子どもたちに来場者から大きな拍手が送られていました。

難なく歩き切る幼児も見受けられました

すなっぷギャラリー

第３回八幡平市＆三陸中学校交流野球大会が開催されました（５月５日、なかやまグラウンド）

花と緑があふれる「八幡平フラワーランド」がオープンしました（５月10日、平笠地内）

第66回県高校総合体育大会ラグビー競技で熱戦を展開（５月25日、上寄木グラウンド）

出席者で「ふるさと」を合唱しました

同郷のつながり深める

第８回八幡平ふるさと会の集い

第８回八幡平ふるさと会の集いが５月25日、サンシャインクルーズ・クルーズ（東京都）で開催されました。

集いには、会員や関係者ら約200人が出席。市の農畜産物を使った料理が出されたほか、特産品の販売会なども行われ、多くの人が列を成していました。また、首都圏を出発し、市内を巡るバスツアー開催についてのアンケートが行われ、出席者からは、ぜひ参加したいといった回答が多く寄せられました。

交流続け20年目迎える

タマサート大学日本生活文化体験旅行

５月19日から28日の10日間、タイ国のタマサート大学生10人が本市を訪れ、ホストファミリーのもとで日本の生活や文化を体験・学習しました。

23日は、西根地区市民センターで、日・タイ文化交流会を開催。日本の民謡やさんさ踊り、タイの伝統的なダンスをそれぞれ披露し、交流を深めました。同大学との交流は、旧西根町で平成７年から始まり、今年で20年目。今回訪れた皆さんを含め、延べ255人の学生が本市を訪れています。

タイの伝統的なダンスに見入る出席者（５月23日）

喜んで牧野を駆け回る牛たち（上坊牧野）

新緑の野に牛放たれる

市営牧野で放牧が始まる

市営上坊牧野での放牧が５月９日に開始され、229頭の乳牛が緑いっぱいの牧野に放たれました。

牧野では最初に、各畜産農家からトラックで運ばれた牛の体重測定と予防接種などを実施。その後、開放された牛たちは、のんびりと草をはんだり、飛び跳ねたりしていました。また、５月20日から27日にかけて、黒毛和種と日本短角種の放牧も市営七時雨牧野と長久保牧野で始まり、延べ621頭の牛たちは、11月ごろまで牧野での生活を送ります。

為内の一本桜（４月30日撮影）

上坊牧野の一本桜（５月９日撮影）